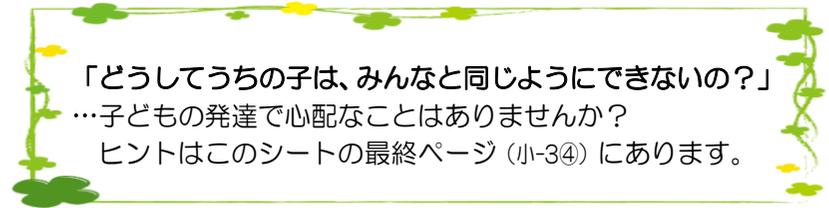


## 学習や生活における成長のようす（小学校）



【あてはまるところに○を記入します。わからないところは、空欄にします。】

小-3④

項目	内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6	
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
学習面	こゝろ 聞く	聞きまちがいや、聞きもらしをせずに、話を聞くことができる						
		指示をきちんと理解 <sup>りかい</sup> することができる						
	こゝろ 話す	ちょうどよい速さで話すことができる						
		同じことのくり返しや一方的な話でなく、会話としてやりとりできる						
		「いつ、だれが、どこで、なにを、どうしたか」や自分の考えを相手に伝えるように話すことができる						
	こゝろ 読む	文字の読みちがえや、思い込みでまちがった読み方をせずに、正しく読むことができる						
		語句 <sup>ごく</sup> や行 <sup>ぎょう</sup> をぬかさずにスムーズに読むことができる						
		文章の要点 <sup>ようてん</sup> を読み取ることができる						
	こゝろ 書く	読みやすい字を書いたり、正しい書き順で書くことができる						
		“へん”と“つくり”を入れ替えるなどの細かい字や句読点のまちがいをせずに書くことができる						
		作文や説明文、詩など、決まった形にそって文章 <sup>ぶんしょう</sup> を書くことができる						
	計算	簡単な暗算ができる						
		問題の意味を理解して四則（＋、－、×、÷）を正しく使うことができる。						
	推論	思い込みや早とちりなど自分なりのやり方で答えを求めず、正しい手順で問題を解くことができる						

項目		内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6
行動面	不注意	不注意によるまちがいが多い						
		「今やらなければならないこと」に対して気が散ることなく集中することができる						
		人の話を落ち着いて聞くことができる						
		指示に従うことができる						
		持ち物の整理整頓ができる						
		物をなくしたり忘れたりすることがあまりない						
	多動性・衝動性	授業中に席を立ったり、そわそわしたりすることはない						
		周囲のことが目に入らない様子でしゃべったり行動したりすることはない						
		きちんとしていなければならない時に、興奮することなく落ちついている						
		給食やトイレなどの順番を待つことができる						
		相手の質問が終わっていなかったり、自分の順番が来ていなかったりするのに突然答えたり、他の人の邪魔をしてしまったりすることはない						
対人関係面	人との関わり	身ぶりや表情など言葉を使わないコミュニケーションでも、相手の伝えたいことを理解することができる						
		人間関係を築くのに大きな苦労をせず、多くの友達と仲良くすることができる						
		多人数で遊ぶことが多い						
		友達と協力して行動することができる						
		相手の感情や立場を理解して話すことができる						
		まわりが困るようなことは、遠慮して言わないようにすることができる						
		うまく説明できなかったり、文を組み立てられなかったり、発音がはっきりしなかったりすることによる会話のむずかしさはない						
		冗談やいやみを理解し、受け流すことができる						
		会話が一方通行ではなく、その時の感情に合わせた話し方をすることができる						
		自分でことばを勝手に組み合わせたりせず、周囲に理解できるように使うことができる						
		ひとり言を言ったり、場面に関係なく声を出したりすることはない						

項目		内容	小1	小2	小3	小4	小5	小6
興味関心・こだわり       その他		他の子どもは興味を示さないような興味があり、自分だけの知識・世界がある						
		空想の世界の遊びと現実との切り替えができる						
		知識が豊富でその意味をきちんと理解している						
		とても得意なことがある一方で、極端に不得意なものがある						
		特定のことに強くこだわりがあっても、日常活動に支障をきたすことはない						
		自分なりの独特な日課や手順があっても、変更や変化に柔軟に対応することができる						
		自分のまちがいが指摘されたり批判されたときに過剰に反応せずに、自分が悪かったことを認めることができる						
		友達とのトラブルはあまりない						
		同じ動きを気のすむまでくり返したり、独特な姿勢をしたりすることはない						
		動作やジェスチャーをスムーズに行うことができる						
特記事項								
長所								
みられる面 努力が								

～ こどもの成長発達は、<sup>ちがい</sup> 違いや <sup>こせい</sup> 個性があります ～

学習やコミュニケーションなど学校生活で困り感をもったとき、10人子どもがいたら10人全員に<sup>ちが</sup>違う理由と原因があります。

例えば、「国語が苦手」というお子さんの場合、【知っている言葉の数が少ないので理解が<sup>むずか</sup>難しい／目で文を追うのが難しい／読んでも内容が頭に入ってこない／文字の形を覚えるのが苦手／先生の話最後まで聞けなくて何をしたらいいかわからない／先生の話<sup>おぼ</sup>覚えられない／自分の考えを書く時に何も思いつかない…】などたくさん原因が考えられます。

一人ひとり違う「なぜわからないか」の原因をみつけて学校と家庭がともに理解すること、またそれに対応した「わかりやすい方法」を見つけてお子さんにあった学習の仕方ですサポートしていくことが大切です。

このチェックリストは「できる／できない」を<sup>はんたん</sup>判断するのではなく、学習やコミュニケーションの困り感がどこから来ているかを見つける手がかりとして使います。

一人ひとりへの理解が深まることで、子ども達が学校生活をもっと「<sup>らく</sup>楽」に「<sup>じしん</sup>自信をもって」過ごすことができます。